

にしじま通信

編集者 西島由紀恵



本当に早いですね。今年もあと一ヶ月あまり・・・
街は日に日にクリスマスカラーに染まってきています。
みなさま、風邪などひいていませんか？



今年は、フォレストサポーターの資格をとるための講習を受けはじめました。「フォレストサポーターって一体なに?!」
読んで字のごとく、フォレスト(森林)をサポート(応援する、支える)人です。
建築をはじめ木材販売・製材を^{なりわい}生業としている身ですから、ここはやっぱり学んでおかななくては・・・と思ったからなんです。

私のいところは、現在アフリカで植林活動をしています。
大学時代から地球環境について勉強をしていて、ついにアフリカまで行っちゃいました。小柄な女の子ですが、次々と同僚がやめていく劣悪な状況のなか、ド根性でがんばっているようです。

私もフォレストサポーターとなって、林業の現状を知り、環境のために、何かお役に立てることを見つけたいと思っています。

〒919-0621 あわら市市姫 5-6-33
西島木材株式会社
リフォームハンズにしじま
西島和之一級建築士事務所
フリーダイヤル 0120-430-150
H・P nishijima-wood.co.jp



ちょっと

……木になるおはなし……

先日、某社長様から、「西島さん、このCD面白いから聞いてみたら……」と五木寛之氏の講演のCDをいただきました。その内容とは――

戦後の日本の建築工学の発展は「湿式工法」から「乾式工法」への大転換であった。

昔は家を建てる時にはセメント、砂利、砂を水で捏ねてモルタルを作ったり、壁土、漆喰を作るときに大量の水を使用して家を建てていた。

それが50年の間に壁土を使わず、ビニールクロスの壁紙になり、さらにアルミサッシ、プラスチック、軽合金、ガラス等を使い、一滴の水を使わず家が建つようになってしまった。

この乾式工法は、建築だけでなく、教育も、医療にも、あらゆる分野に当てはまるのではないが、今の社会全体が乾式社会になってしまった。水分を含んでいるものは重いけれども、乾いたものは軽い。だから乾式の社会は軽い社会であって、その中で心が乾けば命が軽くなり、自分の命を放り出したり、他人の命を奪うような社会になってしまった。

乾いた社会にオアシスの水を注ぎ、日本人の乾ききった心に井戸を掘って水分を含んだみずみずしい心を取り戻す必要があると語っています。



ポテトグラタン風♪

ホワイトソースを作らないから、楽です！

元気おばさんの
おすすめレシピ

[作り方]

1. ジャがいもは皮をむき、5mm厚さの半月切りにします。固めにゆでて、ざるにあげておきます。
2. にんにくを細かくきざみ、ベーコン・玉ねぎは細切りにします。
3. フライパンにバターをひいて、にんにくを炒め香りがでてきたら、ベーコン・玉ねぎを炒めます。
4. 玉ねぎがしんなりしてきたら、固ゆでしたじゃがいもも入れてしばらく炒め、塩コショウします。
5. グラタン皿に(4)の半分を薄くしいて、その上にクリームコーン、生クリーム、ピザ用チーズ(各半分の量)をひきます。これを繰り返します。
6. オーブントースターで焦げ目がつくまで焼きます。パセリをふってできあがり！

[材料]

じゃがいも…2個
クリームコーン(缶詰)…小1個
ベーコン…2枚
玉ねぎ…小1個
生クリーム…1/2カップ
塩コショウ…少々
にんにく…1片
ピザ用チーズ…適量
バター、または油…少々